

子供たちを大切にしたいから、



# 安全・安心の給食おにたちに任せてください!!

**中学校も小学校も  
全部民間委託です**

平成14年度から、中学校全校で親子方式によって給食が実施される予定ですが、これが総て民間委託となります。  
小学校も平成15年度の麹町小学校を皮切りに平成18年度までに総て民間委託されようとしています。

**栄養のバランスが  
崩れてきている時代  
だから・・・**

外食産業が盛んな時代、現代の児童・生徒の栄養バランスも崩れてきています。  
学校給食は、給食を通して、食事の作法や栄養のことを学ぶなど教育の一環として行われていきますが、何よりも味や栄養のバランスを考え、食材も吟味され作られています。学校給食は子供たちの心身の成長にとっても重要な役割を果たしています。

**調理師は作っている  
だけではありません**

給食を作っているのは、千代田区の職員である調理師です。安全や衛生、事故防止に注意を払い、味は薄味にして食材を生かすようにしています。適温で出せるようにいろいろ工夫しています。  
調理師にとって、子供たちとの会話は楽しみで、大切です。「おいしかった?」「ちゃんと残さず食べるのよ」「食器はこう片づけるとうまくいくよ」・等々。  
アレルギー食も作っています。ふれあい給食や高齢者への配食も行っています。

**民間委託は  
「利益優先」です**

民間企業は委託を受けた費用の範囲で給食を行います。企業は利益を上げることが目的です。委託費用が数年で当初の数倍に増えてしまった例もあります。一方利益が上がらなければ、人件費等のコストを削減しようとし、安全や衛生面、食事の品質面でも不安が生まれます。  
長年の信頼関係にある区内の業者の方から仕入れられている食材も、コスト削減のため結局大手業者からの「一括仕入れ」になってしまおうとありあがりです。  
栄養士(職員)と派遣の調理師の意志疎通や、事故が起きた場合の対応なども心配されます。他区の例では、校長や栄養士などがエックすると言っています。簡単ではないと言われています。

**親子方式も問題です**

中学校の給食は一部「親子方式」で実施されます。一橋中、練成中で作られ麹町中、九段中、今川中に運ばれます。本当に適温で食べられるのか、搬入、配食は具体的にどうするのか、どこで食べるのか、など課題は解決しているとは言えません。

**子供たちのために  
よりよい給食を**

遺伝子組み換え食品、農薬や化学肥料使用、添加物使用など食材そのものに細心の注意を払わねばならない時代です。  
民間委託の理由は、中学校給食実施のため新しく職員が必要であり、学校給食にかける費用削減のためとされています。  
しかし、実際は現行の職員数でも対応は可能です。子供たちに安全・安心の給食を出すことよりも、「民間委託」をすることが優先されています。

学校給食は「直営」がベストです

みなさんの

ご意見をお聞かせ下さい

千代田区職員労働組合

〒32641211 (内3551)

明日の千代田区のために

子供たちを大切に行政こそが

求められているのではないのでしょうか！



えー！  
保育園給食も  
民間委託なの！

今年2月に発足した石川区政は、次々に新しい政策を打ち出し、時に新聞紙上をにぎわしています。私たちは、政策の総てを否定するつもりはありませんが、職員の中から「果たしてこれでよいのだろうか」との声が生まれています。また、「区民の方々から、私たちの声が届き始めています。反対の声が届き始めています。」とまどいや疑問、

### 保育園でも給食民間委託化が！

保育園でも、来年4月から四番町保育園で夜8時15分までの保育の延長とともに同保育園の給食全面民間委託化の提案が出されており、委託が他の園にも拡大する様相です。保育園では、乳幼児のために離乳食やアレルギー食などともきめ細やかな食事提供が求められています。保護者の方からも、民間委託には多くの不安や疑問の声があがっています。

### 「こども園」には多くの まどいや疑問の声が

「和泉幼稚園」「いずみ保育園」を完全に一体化（幼保一元化）してしまおうという「こども園」構想が今年8月に突然浮上し、保護者や職員との十分な話し合いもありません。来年の4月から実施したいとしています。また、「こども園」を作るため、和泉小のスペースが減らされようとしています。「幼稚園」「保育園」でも、何よりも必要なことは安心して預けられることです。「もつと時間をかけて十分検討されるべき」となどの声が強く出されています。

### 千代田小には民設民営 の学童クラブが・・・

千代田小学校では、来年4月より学童クラブを施設の一部を民間に貸し出し、民間が運営する「民設民営」で開設されようとしています。こうした動きを聞きつけた保護者の方からは「要望とかけ離れたもの」などの声が出されていると伝えられます。

### 中学校のあり方では

中学校について、現在の5校を3校に再編し、うち1校は「中高一貫校」にする試案が出され、保護者の方などに説明が行われています。教育委員会は早急に案を固めたい意向です。「十分に時間をかけて検討すべき課題では」「中高一貫は本当に必要なのか」などの様々な声が出されています。

### 大企業中心の政策会議

石川区長は今年5月、政策審議等の場として「政策会議」を設けました。この政策会議は石原信雄氏（元官房副長官）、前田又兵衛氏（前田建設会長）、荒木浩氏（東電会長）、今村治輔氏（清水建設会長）など、そうそうたるメンバーが顔をそろえています。国では小泉内閣が「都市再生政策を打ち出し、結局は新しい「公共事業」ではないかとの批判が起きています。大企業や国主導の「都市再生」政策が千代田区で実施されるなら、千代田区の文化や伝統がないがしろにされてしまうおそれはないでしょうか。

### 人口回復のために・・・

千代田区の最大の行政課題は人口回復です。そのためには、千代田区で子供を産み育ててみたいと思われるような、他の自治体に誇れる、教育や保育が何よりも求められているのではないのでしょうか。また、行政に拙速は禁物です。行政の失敗の取り返しは簡単ではありません。行政主導ではなく、区民主導の政策づくりも求められています。



みなさんのご意見をお聞かせ下さい

千代田区職員労働組合

TEL 3264-2111 (内線3551)